

令和5年9月28日

大磯町議会議長 吉川重雄様

提出者 大磯町議会議員 清田文雄

賛成者 // 二宮加寿子
 // 橋本秀彦
 // 玉虫志保実
 // 竹内恵美子
 // 鈴木京子
 // 高橋英俊
 // 毛利泰輔
 // おかみゆき

停止した「新庁舎整備事業」を
速やかに押し進めることを求める決議

以上、決議案を別紙のとおり、会議規則第13条の規定により提出します。

決議案 第1号

停止した「新庁舎整備事業」を 速やかに押し進めることを求める決議

昨年まで、進められてきた「新庁舎整備事業」は、池田町長による町の方針転換により、「新庁舎整備に向けた取組みを一旦停止し、耐震補強工事による現庁舎の継続使用が可能かどうか検証を行い、庁舎の建替え計画について改めて判断する。」ということで、令和4年度当初予算により計画されていた基本計画と基本設計について、基本計画の策定のみとし、計画を停止した。

現庁舎は、すでに築52年を経過しており、仮に耐震補強が可能だとしても、コンクリート建造物の寿命も近いことから、それに続く長寿命対策等に係る費用は凶りしれない。

また、躯体等の経年劣化等を考えると、すべての課題が補強と長寿命対策で解決できるとは到底考えられない。

そのようなことから、9月定例会の8月30日に提案された補正予算に計上の本庁舎耐震診断に伴う調査委託料は、全くの無駄・二重投資との考えから修正案が提案され、賛成多数で可決し削除された。

議決によって議会の意思が示されたことから、この際、速やかに、予定されていた「新庁舎整備事業」のロードマップに準じ、基本計画に続く事業を推進するよう、強く要望する。

以上、決議する。

令和5年9月29日

神奈川県中郡大磯町議会